



本資料は、米国アッヴィ社が2025年1月31日(米国時間)に発表したプレスリリースを一部、日本語に翻訳し、2025年2月6日(日本時間)、皆さまのご参考として供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料(英文)については、www.abbvie.comをご覧ください。なお本文中には日本未承認薬、未承認適応症に関する情報が含まれています。

PRESS RELEASE

2025年2月6日

アッヴィ、2024年第4四半期および通年の業績を発表

- 2024年度の希薄化後1株当たり利益(EPS)はGAAPベースで、12.1%減の2.39ドルでした。調整後希薄化後EPSは8.9%減の10.12ドルでした。これらには、2024年に取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連した1株当たり1.52ドルのマイナスの影響が含まれます。
- 2024年度の売上高は、報告ベースで3.7%増、営業ベースで4.6%増の563億3,400万ドルでした。
- 免疫ロジ(免疫)領域の2024年度の売上高は、報告ベースで2.1%増、営業ベースで2.9%増の266億8,200万ドルでした。ヒュミラ®の売上高は、89億9,300万ドルでした。スキリージ®の売上高は、117億1,800万ドルでした。リンヴォック®の売上高は、59億7,100万ドルでした。
- オンコロジー(がん)領域の2024年度の売上高は、報告ベースで10.8%増、営業ベースで12.0%増の65億5,500万ドルでした。イムブルビカ®(日本ではヤンセンファーマ株式会社による承認・販売)の売上高は、33億4,700万ドルでした。ベネクレクスタ®の売上高は、25億8,300万ドルでした。
- ニューロサイエンス(精神・神経疾患)領域の2024年度の売上高は、報告ベースで16.6%増、営業ベースで16.9%増の89億9,900万ドルでした。ポトックス・セラピューティック(日本ではグラクソ・スミスクライン株式会社による承認承継・販売)の売上高は、32億8,300万ドルでした。Vraylar(日本では未承認・未発売)の売上高は、32億6,700万ドルでした。UbrelyvおよびQulipta(日本では未承認・未発売)の売上高は合わせて、16億6,400万ドルでした。
- エステティクス(美容医療)領域の2024年度の売上高は、報告ベースで2.2%減、営業ベースで0.6%減の51億7,600万ドルでした。ポトックス・コスメティックの売上高は、27億2,000万ドルでした。ジュビダームの売上高は、11億7,700万ドルでした。
- 2024年第4四半期のGAAPベースの希薄化後1株当たり損失は0.02ドルでした。これには最近のEmraclidineに関連する一部の無形資産減損費用が含まれます。調整後希薄化後EPSは2.16ドルでした。これらには、2024年第4四半期に取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連した1株当たり0.88ドルのマイナスの影響が含まれます。
- 2024年第4四半期の売上高は、報告ベースで5.6%増、営業ベースで6.1%増の151億200万ドルでした。
- 2025年度における調整後希薄化後EPSのレンジを、12.12ドル~12.32ドルとしました。これには、仕掛研究開発費およびマイルストーン支払によるマイナスの影響は含まれません。
- 年平均成長率は2029年まで1桁台後半になると予想しています。スキリージ®とリンヴォック®の2027年の売り上げ見通しを合わせて310億ドル以上に引き上げます。



エステティクス領域の見通しを更新し年平均成長率は2025年から2029年にかけて1桁台後半とします。

米国イリノイ州ノースシカゴ、2025年1月31日—アッヴィ(NYSE: ABBV)は、2024年第4四半期および通年(2024年12月31日終了)の業績を発表しました。

アッヴィのCEOのロバート・A・マイケルは、次のように述べています。「2024年は大きく躍進した年でした。成長基盤となる製品が売り上げを伸ばし、承認取得や有望なデータによりパイプラインを進展させ、戦略的取引によりビジネスを強化しました。好調な勢いのまま2025年がスタートし、ヒュミラ®の米国における独占的販売権の喪失後2年目で、当社の売上高はこれまでのピークを上回ると予想しています」

2024年第4四半期の業績

- 売上高は、報告ベースで5.6%増、営業ベースで6.1%増の151億200万ドルでした。
- イミュノロジー(免疫)領域の売上高は、報告ベースで4.9%増、営業ベースで5.3%増の72億9,400万ドルでした。
 - ヒュミラ®の売上高は、報告ベースで49.1%減、営業ベースで48.7%減の16億8,200万ドルでした。米国での売上高は、54.5%減の12億4,600万ドルで、米国外では報告ベースで22.7%減、営業ベースで20.5%減の4億3,600万ドルでした。
 - スキリージ®の売上高は、報告ベースで57.7%増、営業ベースで57.9%増の37億7,800万ドルでした。
 - リンヴォック®の売上高は、報告ベースで46.2%増、営業ベースで47.1%増の18億3,400万ドルでした。
- オンコロジー(がん)領域の売上高は、報告ベースで12.0%増、営業ベースで12.9%増の16億9,100万ドルでした。
 - イムブルビカ®(日本ではヤンセンファーマ株式会社による承認・販売)の売上高は6.2%減の8億4,800万ドルで、その内訳は、米国内が6億2,500万ドル、米国外が2億2,300万ドルでした。
 - ベネクレクスタ®の売上高は、報告ベースで11.0%増、営業ベースで13.0%増の6億5,500万ドルでした。
 - Elahere(日本では未承認・未発売)の売上高は、1億4,800万ドルでした。
- ニューロサイエンス(精神・神経疾患)領域の売上高は、報告ベースで19.8%増、営業ベースで19.9%増の25億900万ドルでした。
 - ボトックス・セラピューティック(日本ではグラクソ・スミスクライン株式会社による承認承継・販売)の売上高は、報告ベースで12.5%増、営業ベースで13.0%増の8億7,300万ドルでした。
 - Vraylar(日本で未承認・未発売)の売上高は、17.1%増の9億2,400万ドルでした。
 - Ubrelvy(日本で未承認・未発売)の売上高は、29.6%増の3億300万ドルでした。
 - Qulipta(日本で未承認・未発売)の売上高は、報告ベースで76.4%増、営業ベースで76.2%増2億100万ドルでした。
- エステティクス(美容医療)領域の売上高は、報告ベースで5.2%減、営業ベースで4.4%減の12億9,800万ドルでした。



- ボトックス・コスメティックの売上高は、報告ベースで 4.2%減、営業ベースで 3.4%減の、6 億 8,700 万ドルでした。
- ジュビダームの売上高は、報告ベースで 16.3%減、営業ベースで 15.1%減の 2 億 7,900 万ドルでした。
- GAAP ベースで、売上総利益率は 70.9%でした。調整後売上総利益率は 83.8%でした。
- GAAP ベースで、売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、25.5%でした。調整後の売上高に占める販売費および一般管理費の割合は 23.6%でした。
- GAAP ベースで、売上高に占める研究開発費の割合は、44.9%でした。調整後の研究開発費の売上高に占める割合は、15.1%でした。
- 取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払の売上高に占める割合は 10.4%でした。
- GAAP ベースで、営業利益率はマイナス 9.9%でした。調整後営業利益率は 34.7%でした。
- 純支払利息は 6 億 1,000 万ドルでした。
- GAAP ベースで、税率は 99.0%でした。調整後の税率は、20.2%でした。
- GAAP ベースの希薄化後一株当たりの損失は、0.02ドルでした。これには最近の Emraclidine に関連する一部の無形資産減損費用が含まれます。特定項目を除く調整後希薄化後 EPS は、2.16ドルでした。これらには、取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連した 1 株当たり 0.88ドルのマイナスの影響が含まれます。

注意：「営業ベース(Operational)」の対比は、恒常為替レートで提示し、前年の為替レートにより現地通貨売上高の比較を実施しています。

詳細な情報はこちらをご覧ください(英文オリジナル)。

<https://news.abbvie.com/2025-01-31-AbbVie-Reports-Full-Year-and-Fourth-Quarter-2024-Financial-Results>

アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製とソリューションの提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、がん、精神・神経疾患、アイケア、さらに美容医療関連のアラガン・エステティクスポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。X(旧 Twitter) [@abbvie](https://twitter.com/abbvie)、[Facebook](https://www.facebook.com/abbvie)、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) や [Instagram](https://www.instagram.com/abbvie) でも情報を公開しています。

Forward-Looking Statements

Some statements in this news release are, or may be considered, forward-looking statements for purposes of the Private Securities Litigation Reform Act of 1995. The words "believe," "expect," "anticipate," "project" and similar expressions and uses of future or conditional verbs, generally identify forward-looking statements. AbbVie cautions that these forward-looking statements are subject to risks and uncertainties that may cause actual results to differ materially from those expressed or implied in the forward-looking statements. Such risks and uncertainties include, but are not limited to, challenges to intellectual property,



competition from other products, difficulties inherent in the research and development process, adverse litigation or government action, and changes to laws and regulations applicable to our industry. Additional information about the economic, competitive, governmental, technological and other factors that may affect AbbVie's operations is set forth in Item 1A, "Risk Factors," of AbbVie's 2023 Annual Report on Form 10-K, which has been filed with the Securities and Exchange Commission, as updated by its Quarterly Reports on Form 10-Q and in other documents that AbbVie subsequently files with the Securities and Exchange Commission that update, supplement or supersede such information. AbbVie undertakes no obligation, and specifically declines, to release publicly any revisions to forward-looking statements as a result of subsequent events or developments, except as required by law.